

TOSHIBA

東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

販売店・工事店さま用

形名
(L タイプ)
DVF-G10L4, G14L4, G14LQ4（鋼板タイプ）
DVF-G10CL4, G14CL4, G14CLQ4（プラスチックタイプ）
DVF-G10CLE4, G14CLE4, G14CLQE4（プラスチックタイプ・電気式シャッター付）

(B タイプ)
DVF-G10CB4, G14CB4, G14CBQ4（プラスチックタイプ）
(H タイプ)
DVF-S10H4, S14H4（プラスチックタイプ φ75 用）
(V タイプ)
DVF-G10VS4（ステンレスタイプ）
DVF-S10V4（鋼板タイプ φ 75 用）

- この換気扇の注意事項をよく知っていたき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください。）

安全上のご注意

- 商品および取付説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表 示	表示の意味
	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊ 1）を負うことが想定される内容”を示します。
	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊ 3）の発生が想定される内容”を示します。

- * 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- * 2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- * 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の意味	図記号の意味
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

警告	
	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
	修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン調換ご相談センターにご連絡ください。
	アースは確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。
	内釜式風呂を設置した住宅には取りつけない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据えつけたときは、十分に大きな空気取り入れ口を別につける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

注意	
	浴室には壁スイッチを取り付けけない 火災・感電の原因になります。
	炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
	強度のある場所に確実に取りつける 落下による、けがの原因になります。
	本体カバーや部品は確実に取りつける 落下による、けがの原因になります。
	電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 火災の原因になります。
	取付、お手入れの際は必ず手袋を着用する 手袋を着用しないとけがの原因になります。

取付上のお願ひ

- 次のような場所には取り付けないでください。
 1. 高温（40℃以上）になる場所
 - ①ガスレンジの真上
 - ②ガス湯沸器の真上（横方向へ 50cm 以上離してください。）
 - ③換気機能のない浴室乾燥機を使用する浴室
 2. 台所など油煙の多い場所
 3. 腐蝕性ガスの発生する場所
- 点検口を必ず設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。
 - (1) 極端な曲げ
 - (2) 多数回の曲げ
 - (3) 接続ダクト径を極端に小さくする
 - (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる原因になります。
- 地域によっては樹脂製換気扇およびジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）
- 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2m の鋼板立上りダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。
- 効率よく換気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。
- 業務用 24 時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。

製品寸法

		(単位 mm)													
		DVF-G10CLE4, G14CLE4, G14CLQE4													
形 名		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	木枠内寸	ダクト呼び径		
DVF-G10L4		193	110	18.5	246	197	168	107	119.5	φ98	30	□ 175	φ100		
DVF-G10CL4		193	126	18.5	246	185	168	84	120	φ98	25	□ 175	φ100		
DVF-G10CB4		193	126	31	254	185	168	84	120	φ98	25	□ 175	φ100		
DVF-G14L4, G14LQ4		242.5	140	17.5	293	198	217	106.5	119.5	φ98	30	□ 225	φ100		
DVF-G14CL4, G14CLQ4		242.5	140	17.5	293	198	217	110	120	φ98	25	□ 225	φ100		
DVF-G14CB4, G14CBQ4		242.5	140	31	310	198	217	110	120	φ98	25	□ 225	φ100		
DVF-S10H4		193	126	17	244	185	168	93	120	φ73	—	□ 175	φ75		
DVF-S14H4		242.5	140	17	293	198	217	142	120	φ73	—	□ 225	φ75		
DVF-S10V4		193	110	10	230	197	168	122	119.5	φ73	—	□ 175	φ75		
DVF-G10VS4		193	110	10	230	197	168	82	119.5	φ98	—	□ 175	φ100		
DVF-G10CLE4		193	126	18.5	246	185	168	140	120	φ98	25	□ 175	φ100		
DVF-G14CLE4, G14CLQE4		242.5	140	17.5	293	198	217	136.5	120	φ98	25	□ 225	φ100		

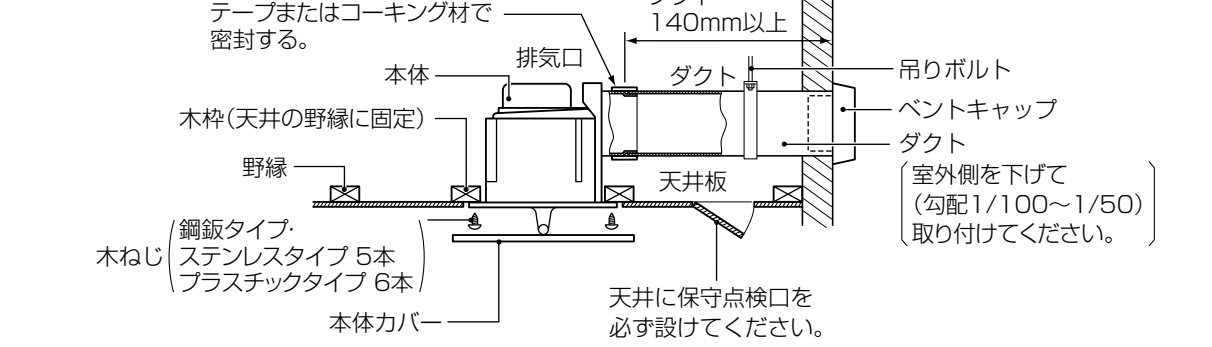
付属品の確認をしてください

鋼板タイプ・ステンレスタイプ	プラスチックタイプ
●木ねじ5本 (本体固定用・排気口固定用)	●取付ボルト1本 (本体仮固定用)

取付方法

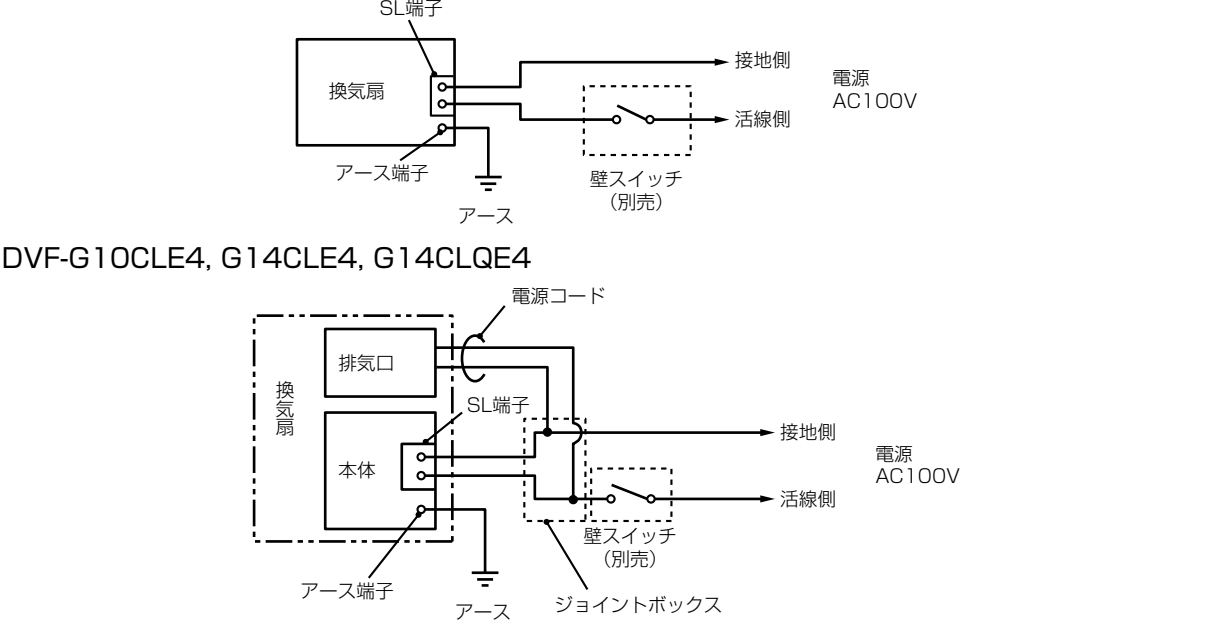
- 取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。

取付図



配線図

DVF-G10L4, G14L4, G14LQ4, G10CL4, G14CL4, G14CLQ4
DVF-G10CB4, G14CB4, G14CBQ4
DVF-S10H4, S14H4, G10VS4, S10V4



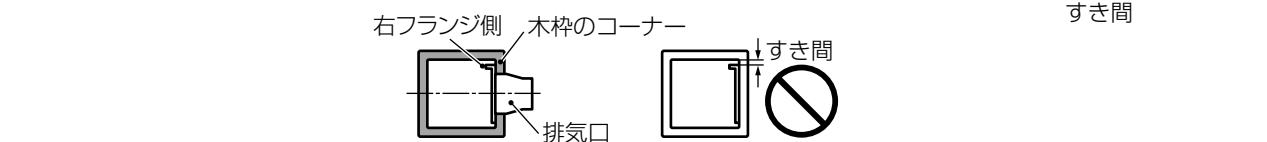
A. 木枠に取り付けるとき

A-1 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。

お願ひ	野縁	木枠	補強材	タイプ	製品質量(kg)	木枠内寸(mm)
製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材などで野縁に固定します。				DVF-10	鋼板タイプ・ステンレスタイプ プラスチックタイプ	1.9 1.9
				DVF-14	鋼板タイプ・ステンレスタイプ プラスチックタイプ	2.7 2.6

A-2 排気口を固定します。

排気口を木枠と傾きおよびすき間がないように、内側の穴に付属の木ねじ（鋼板タイプ・ステンレスタイプ 1 本、プラスチックタイプ 2 本）で固定します。
※鋼板タイプ・ステンレスタイプは、排気口の右フランジ部を木枠のコーナーに合わせてください。



A-3 本体を木枠に固定します。

①本体を挿入し、排気口の上部穴に本体の凸部をはめ込みます。
※鋼板タイプ・ステンレスタイプは取付ボルトで仮固定します。安全のためそのままにしておいてください。

②木ねじ（4 本）で、本体を木枠に固定します。
本体の固定は木枠に密着させてください。風もれの原因となります。

お願ひ
本体を木枠の上に固定しないでください。

A-4 電源コードとアース線を接続します。

①本体上部のプッシングから電源コード（VVF φ1.6、φ 2、2 芯、3 芯）、アース線を差し込みます。

●VVF は 2 芯または 3 芯を使用してください。

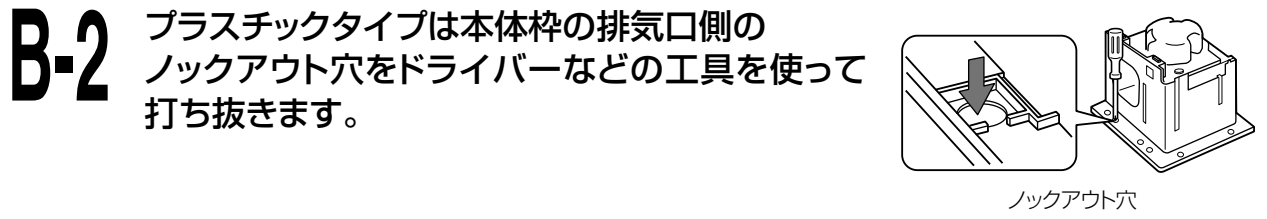
②カバーのねじをはずし、カバーをあけます。

③SL 端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
（電源被ふくは 14mm 以内でください）

B. 吊下金具を使用するとき

B-1 下図の寸法にアンカーボルトを埋込みます。

タイプ	A	B
DVF-10	204	146
DVF-14	鋼板タイプ・ステンレスタイプ プラスチックタイプ	253 243



B-2 排気口を本体に取り付けます。

本体の上部凸部に排気口の穴をはめ込みます。
鋼板タイプ・ステンレスタイプは排気口の切り起こしを、右図のようにペンチなどで曲げ、本体に固定してください。

B-3 吊下金具 DV-2T（別売部品）を本体に取り付けます。

＜鋼板タイプ＞
①本体のハーフカット部をドライバーなどで打ち抜きます。（2 カ所）
＜プラスチックタイプ＞
①本体の薄内部を打ち抜きます。（2 カ所）
②吊下金具の切り起こし部を本体の凸部に引っ掛けます。
③本体内側よりねじ（2 本）で確実に固定します。
※ステンレスタイプの製品は、ハーフカット部が穴あきとなっていますので、テープをはがしてご使用ください。

- ④カバーを閉じてねじを締め付けます。
- ⑤アース端子にアース線を取り付けます。
- ⑥電源コードおよびアース線は本体付近で 70cm 以上たるませてください。
- ⑦電気式シャッターはダクト接続口側面の電源コードに電源を結線します。
必ず電気シャッターと換気扇が連動するように並列に配線します。（配線図参照）
- 配線図上部分の配線接続部はジョイントボックスに納めてください。

お願ひ
スイッチ（入切）は必ず活線側に取り付けてください。

A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

お願ひ
ダクトは室外側を下げて吊りボルトなどで保持してください。

A-6 天井板を貼り付けます。

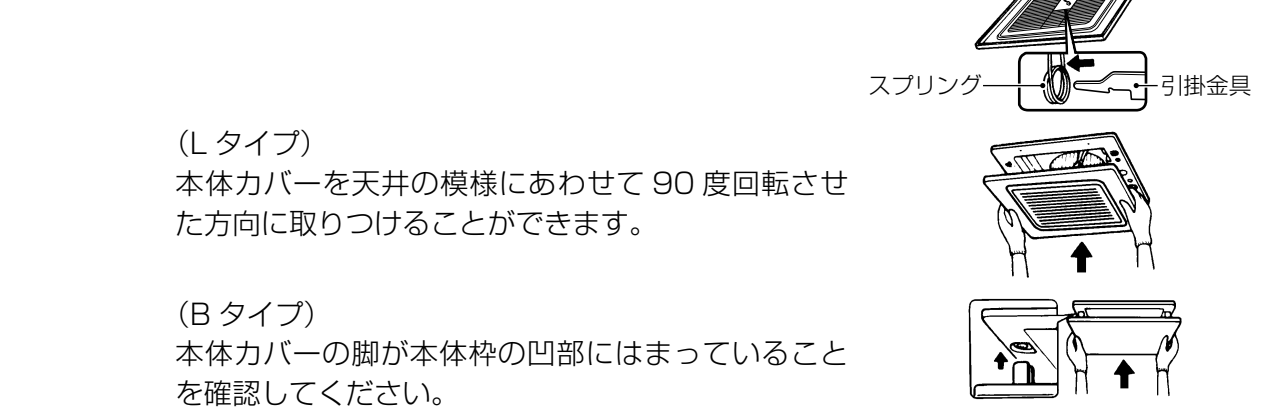
お願ひ
●本製品は本体を天井よりはすせる構造としてありますので、天井板と本体のフランジとのスキマが 2 ～ 3mm になるようにしてください。
●本体カバーが B タイプのとき、天井板は厚さ 11mm 以下のものをご使用ください。それ以上ですと風量が低下し換気が悪くなります。

A-7 本体カバーを取り付けます。

①本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。

②スプリングに引掛金具を引っ掛けます。

③本体カバーをそのままゆっくりと押し上げます。



(L タイプ)
本体カバーを天井の模様にあわせて 90 度回転させた方向に取り付けることができます。

(B タイプ)
本体カバーの脚が本体枠の凹部にはまっていることを確認してください。

B-5 本体をアンカーボルトに取り付けます。

お願ひ
本体が水平になるように取り付けてください。

B-6 本体に合わせて木枠を組み付けます。



B-7 本体および排気口を木枠に固定します。

木ねじで本体、排気口を木枠に固定します。
・鋼板タイプ・ステンレスタイプ…… 5 本
・プラスチックタイプ…………… 6 本

B-8 以後の取り付けは A-4・5・6・7 を参照してください。

試運転

以上で取り付け完了です。
つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分ですか
- 運転したとき異常音、異常振動がありませんか
- 本体カバーが確実に取り付けられていますか

日本キャリア株式会社